

自治協ニュース

第2706号
発行者
八本松小学校区
住民自治協議会
H27. 10. 20

重点活動

環境整備の取組 アイデア集める

ウォーキングコースと地域センター外苑整備の取組

この日参加された38名の皆さんは地域別に5グループ



ワークショップで意見を出し合う参加者の皆さん

プに分かれ、日頃のウォーキングを基に地域で推奨できるウォーキングコースの特徴や課題をマップ等に書き出すとともに、地域センター外苑整備の意見を集計表にまとめ各グループ毎に発表された。提案されたウォーキングコースは21コースにのぼった。特に、コース周辺にある

住民自治協議会は今年度重点活動「まちぐるみ心と体の健康づくり」を進めるため、10月4日地域センターでワークショップを開き、地域で推奨できるウォーキングコースの実態と地域センター外苑整備のアイデアを集めた。

池や山など恵まれた自然環境や歴史文化等のPRや、安全で健康にやさしいウォーキングコースに整備をすることが望ましい等の意見が出された。また、地域センター外苑の整備については「学校区を中心拠点」として、「セツ池周辺の景観を生かした憩いの場」として、「歴史・文化・ふれあい・防災公園」として位置づけた整備が望ましい等多くの意見が出された。

中本副会長は最後に本日の貴重なアイデアを今後プロジェクトチームを編成し、整理のうえ本年度重点活動に活かしていきたいと述べ会議を終了した。

防災活動 救命率を高めるために 八本松西 自主防災会

災害から身を守るには 市危機管理課 救命は胸骨圧迫の持続が最優先 消防署西分署



胸骨圧迫(心臓マッサージ)と人工呼吸及びAED操作の訓練状況

日 84名の参加者のもと災害の基本知識の講演と救命訓練の防災活動を実施した。

東広島市危機管理課の上野さんは市から避難情報が

出たら避難所への避難(立ち退き避難)だけでなく、災害の状況により

屋内の安全な場所へ避難(屋内安全避難)も必要と述べた。

本年度4回目 夜の見回り活動

防犯部会は10月3日夜7時から地域の有志20名による夜の巡回パトロールを行った。

結果 点灯してない防犯灯や街路灯が4か所、防犯灯の間隔が広く暗い道や地域が確認され、関係自治会等へ情報提供される予定。本年度は後2回実施予定。



結果を報告するパトロール隊員の皆さん

また、消防署西分署の土井さんは倒れている人が呼吸をしていなかったら最低限 胸部圧迫を最優先で持続していただきたいと述べ、応急対応のポイントを訓練を通し分かりやすく指導した。

牧野会長は、より多くの皆さんが訓練に参加してもらうことが救命率を高めることに繋がります。今後も引き続き実施したいと述べた。

第5回八本松ふるさと文化祭 幼児から高齢者まで みんなで参加 さまざまな場広がる

9月27日 八本松ふるさと文化祭が地域センターで開催された。ステージと作品展には延べ500名の参加があり、当日は約1200名の皆さんが集い、いきいきとした熱演と素晴らしい展示で大変盛り上がった文化祭となった。特に今年度は体験学習コーナーやスタンプラリーを増設したことで誰もが参加できるふれあいの場が広がった。



行列待ちのバザー



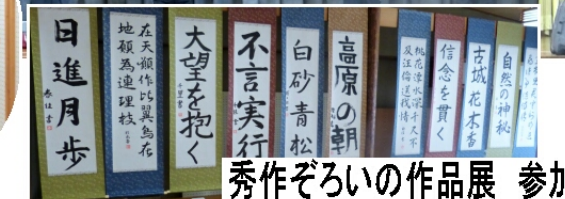
熱演ステージ 参加者371名



子供たち人気のスタンプラリー



上手!! 体験学習コーナー



秀作ぞろいの作品展 参加者113名



表彰された優秀班長

登下校時の優秀班長、優秀班長 表彰

10月9日 八本松小学校の登下校の優秀班長と優秀班の表彰式が小学校体育館で行われた。班全員の登下校時の態度が良かった優秀班(14班)の表彰に加え、低学年の面倒をよく見た班長も優秀班長(21名)として

表彰された。賞状を授与した高橋防犯部会部長は、「最近児童にとって心配な事件が続いている。これに巻き込まれないためにも皆表彰されるようがんばってほしい」と子供たちに述べた。

9月26日 週五日制対応行事の料理教室が小学校で開催された。1年生から3年生までの親子50名がお月見の「フルーツ白玉」の「うずみ」を見る間に完食し、「皆



子供達は上手に肉や豆腐などを切り鍋で煮る調理もなかなかのもの。具だくさんの「うずみ」を見る間に完食し、「皆

玉」と福山市の郷土料理「うずみ」(江戸時代の儉約政治で庶民が贅沢な鯛などの具をご飯の下に埋めて食べた)に挑戦。



豆腐の切り方を教わる児童

親子料理教室 週五日制対応行事 小学校低学年 今回のメニュー フルーツ白玉とうずみ

で楽しく作った料理は「おいしいです」と笑顔で語った。